

## ウィークリーSP活動のようす

2学期が始まり、1カ月が経とうとしています。教員採用試験も終わり、活動を再開する4年生のSPさんも増えてきました。2学期は、学校行事がたくさんあります。子どもたちが大きく成長する時期です。この時期のSP活動を通して子どもたちの成長を感じることはウィークリーSP活動の醍醐味でしょうし、先生方の指導の様子や運営・準備を見ることはとても勉強になると思います。積極的に参加してもらえたらと思います。活動の様子を少しだけ紹介したいと思います。



石浜西小学校と東浦中学校で活動している甲斐SP。週1～2回の活動を今年度4月から続けています。石浜西小学校の特別支援教室で活動している様子を見させてもらいましたが、彼の支援は“絶妙”でした。子どもに声をかけるタイミング、離れるタイミング、立つ位置、話しかける位置……。バランス感覚が最高の支援でした。集中が切れやすかったり、授業にすんなり入っていけなかったりする時、どうしても“やってあげたくなる”ことが多いと思います。ですが、甲斐SPはその子その子の様子を見て、「ここからはこの子が自分でできるかな」と判断したらその場をサッと離れていました。この離れるタイミングが“絶妙”！離れて様子を見てみて、必要だと思ったらまた近づく。近づく時も、声をかける前にまずは“横で、立って、見ている”。「見ているよ」という雰囲気子どもが勉強に戻っていければまた離れ、難しそうな時は声をかける。先生方の動きもよく見ながら子どもたちの支援をしていました。これは週1～2回継続的に学校へ来て、先生方の指導を見たり、子どもたちと関係ができてきたりしたからできることだと思います。「SP活動はどう？」と聞いてみたら、「本当に毎回いろんなことが起きます。日（天気や季節など含め）によっても子どもたちそれぞれに雰囲気や取り組み具合も全然違いますね。小学生と中学生でも、子どもたちが抱えていたり悩んでいたりの問題が違いますね。」と答えてくれました。ウィークリーSP活動の良さを存分に感じている様子でした。海外にも積極的に行っているいろいろ経験しているそうです。バイタリティ溢れる甲斐SP。4月から学校現場で大活躍間違いなしのSPさんです。



9月21日（土）は、片葩小学校で「片葩っ子まつり」（学習発表会）がありました。3人のSPさんが活動していました。



学校に到着してすぐに先生と打ち合わせをする山口SP。SPさんもチーム片葩の一員、“パートナー”です。山口SPは遠方（豊橋市）から来ています。4月からは高校の先生です。これから関わっていく子どもたち（高校生）とは年齢が全く違いますが、小学校でのこの活動は必ず役立つはずです。遊んだりバイトしたりしたいであろう休日に、子どもたちの活躍する瞬間を見届けに、サポートしに、来てくれるSPさん。学校にとっても保護者にとっても有難い存在です。

子どもたちの発表が終わったら、扇風機の移動をしてくれていました。こうした些細な気遣いが、「ここまでやってくれるのだ」という保護者の方への信頼感につながっていきます。先生方はすぐにクラスでの準備、子どもたちへの指示・指導があります。SPさんが来てくれるから、動いてくれるから、助かる瞬間があります。「こんなこともやっていたな」という記憶が、SPさんにとっては現場に出たときに役立つはずです。



酒井SP・川端SPは、要所要所で写真を撮ってくれていました。この日来てくれていた3人のSPさんは全員大学4年生。今年の夏休み「わくわく算数教室」でも大活躍だった3人です。「わくわく算数教室」では、例年、SPさん同士の仲も深まります。お互いに情報交換しながら、サポートしてくれていました。

2学期に入ってから子どもたちは「片葩っ子まつり」に向けて一生懸命準備していました。普段の授業や前日の準備でも、SPさんたちはいろいろな支援をしてくれていました。「片葩っ子まつり」後の職員会では、SPさんへの感謝の言葉があったそうです。学校、子どもたち、保護者、学生のみなさん、だれにとってもWin-Winな東浦の学校ボランティアです。